

# 霧ヶ峰基金会報

2011年2・3月号（通算40号）

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactory2 階

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



## 晴れた空 静かな高原

誰一人いない静かな新年の車山のふもとで、一年間の英気をいただくが如く、大きく深呼吸をしつつ、しばし、青空、車山のドームを眺めてきました。

うさぎ年なのでうさぎの足跡を探しながら、周辺を散策。

ふと、うさぎの足跡を見て気付いたことがありました。

今年ほうさぎの足跡にあやかり頑張ろうと。

# 新年のごあいさつ

理事長 小原宏文

あけましておめでとうございます。

年末年始は「全国的に雪」と言われていましたが、今年の諏訪地方は、穏やかな天気の中で正月を迎えることができました。

冬の霧ヶ峰を散策すると「ノウサギ」の足跡を見つけます。

ノウサギの歩行には三つの特徴があります。ひとつはジャンプして前進をすることです。もうひとつは、ジャンプは前足をついてからそれを飛び越えるようにして後足で着地していることです。さらに前足痕より後足痕の方が大きいことです。

去年は、ツアーの催行、モニタリング調査等の活動の中、2件の大臣表彰をいただきました。

我々もノウサギの後足跡のように、昨年よりさらに大きい足跡を残せるように前進したいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



メモ：四つ目の特徴は、追っての攪乱のため後戻りすることですが割愛しました。(とめ足)

## 【コラム】 ウツギ あれこれ

この時期は、雪の霧ヶ峰を散策するほか、暖かい部屋でフィールドノートや写真を整理して、「今年は何をしようか」、「どんなの写真と撮ろうか」と構想を練る時期でもあります。

去年のノートにノリウツギ、バイカウツギ、ニシキウツギの名前がありました。

霧ヶ峰は〇〇ウツギという名前の植物が何種類かあります。



ノリウツギ



ニシキウツギ

ウツギというのは、茎が空中の植物全般の意であり「空木」と書きます。科は異なりますが、茎が中空の「〇〇ウツギ」というものが霧ヶ峰には9種類あります。ちなみにユキノシタ科の「ウツギ」は「卯木」とも書き、卯月（旧暦の4月）に花を咲かせることに由来すると言われています。

「卯年、他人の空そら似の花めぐり」をしながら霧ヶ峰を散策するのも面白いかもしれません。

(小原宏文)

### 霧ヶ峰に生育する名前にウツギのある植物

ユキノシタ科	ウツギ、ノリウツギ、ガクウツギ、バイカウツギ
バラ科	コゴメウツギ
ミツバウツギ科	ミツバウツギ
フジウツギ科	フジウツギ
スイカズラ科	コツクバネウツギ、ニシキウツギ

\*霧ヶ峰の植物目録 諏訪市教育委員会 1981 参照し作成

# 霧ヶ峰と人とのかかわり

～最古の信州ブランド「黒曜石」、その原産地に人々が集う～

霧ヶ峰では旧石器時代(約3万年前)の頃から、人々の生活の痕跡を多くたどることができます。

それは、霧ヶ峰が本州最大の黒曜石の原産地である和田峠に近かったことが考えられます。

黒曜石は火山活動により作られる天然のガラスで、鋭い切れ口を持つことと加工がしやすいため、石器の材料として多く使用されていました。

旧石器時代以降、人々は主に黒曜石を加工して石器を製作してきました。その石器を用い、動物を捕らえ、その肉や皮を切るなど加工していました。時代が経つにつれて石器の作られ方は変化しています。ナイフ形石器と呼ばれるものは古く、槍先型尖頭器などは新しい頃のものと考えられています。

しかし、これらは現代の我々が作られた形を見て名付けたものであり、具体的にどのように人々が使っていたかははっきりしていません。

旧石器時代や縄文時代の人々は、石器の製作の原材料を採取する目的もあり、霧ヶ峰周辺に集まり石器の製作をすることとともに、今よりもかなり寒い自然環境の下、日々の生活を送っていました。

昭和27年に八島遺跡が発見されてから、八島ヶ原湿原の周囲を中心にして分布している雪不知遺跡や物見岩遺跡、そして、踊場湿原周辺に位置している池のくろみ遺跡などの多くの旧石器時代の遺跡が発見、調査されてきました。

## ～つくりかけ?の石器が多かった八島遺跡～

八島ヶ原湿原の南端、湿原の水が観音沢へと流れ出る場所の近くにある八島遺跡は、昭和27年に道路工事によってたくさんの黒曜石が見つかったことにより発見されました。

およそ12000年～15000年前の頃の遺跡です。



八島遺跡出土石器



ジャコッパラNo.12 遺跡出土遺物

また、最近では踊場湿原の南側にあたるジャコッパラ一帯からも、これらの時代の遺跡が多く発見されています。

発掘調査は昭和30年に行なわれました。6畳に満たない面積を調査しましたが、そこから5000点を越える大量の黒曜石製石器が見つかっています。

このことから、八島遺跡では大量の石器が製作されていたことがわかりました。

また、見つかっている石器は完成品がとても少なく、そのほとんどは未完成品や失敗品、製作の時に黒曜石のくずなどでした。

これらから、八島遺跡では和田峠などから採取された黒曜石などを持ち込んで、加工・製作をし、完成した石器をほかの地域へ持って行ったと考えられます。

旧石器時代、信州産の黒曜石は福島県から愛知県の間分布していて、特に関東地方の多くの遺跡で見つかっています。

(藤田香)

写真提供：諏訪市教育委員会

### 【参考文献】

諏訪市の遺跡 諏訪市教育委員会 1983  
『諏訪市史』上巻 原始編 第一章 「旧石器時代の諏訪」 高見俊樹 1995  
改定 諏訪市の文化財 諏訪市教育委員会 1998  
諏訪の旧石器展 展示図録 諏訪市博物館 2002

# 事務所移転のお知らせ

平成 23 年 3 月 1 日より、下記に事務所を移転いたします。電話番号などの変更はございません  
〒393-0025 長野県諏訪郡下諏訪町本郷 6371 番地  
ハイツ ルミエール A 棟

## 【会員さん限定】雪のはらさんぽ



雪の積もった草原をスノーシューで歩きましょう。  
スノーシューで歩くのに、特別な技術は要りません。  
ちょっぴりの“ずく”があれば、誰でも「雪のはらデビュー☆」  
できます！

今回は、ピーナスライン  
霧ヶ峰インターチェン  
ジからゴマ石山までを、  
動物たちのフィールド  
サインを探しながら、の  
んびり散策します。

転んでしゃっても  
大丈夫！  
ふかふかの新雪は  
気持ちがいい！！



※ずく…長野県の方言で、「やる気」とか「根気」「根性」というような言葉にたとえられ  
ますが、なんともぴったり当てはまる標準語がない信州特有のあったかい言葉です。

日時： 2011年2月20日（日）

集合：9：00 場所：諏訪市霧ヶ峰スキー場駐車場（公衆トイレの近く）

### ・持ち物・服装

防寒着、帽子、手袋、マフラーなど ※スキーに行く服装を参考にしてください。

スノーブーツ（防水性があるもの）、ゴーグル、日焼け止め、おひるごはん、おやつ、あったかい飲み物  
スノーシュー&ストック（レンタルのご相談承ります。お申し込み時にお伝えください）

### お問い合わせ・お申し込み

お電話かメールで、下記までお知らせください。

事務局 090-9668-3380 ※不在の場合はメッセージをお入れください

e-mail： kirigamine.kikin@gmail.com

しめきり 平成23年2月17日 午後5:00

### ご注意

- ・天候や道路状況により、開催を中止したり目的地を変更する場合があります。ご了承ください。
- ・持ち物や服装が適切でなく、参加者に危険が及ぶと判断される場合は参加をご遠慮いただく場合がございます。
- ・道路の凍結や積雪などがございます。時間に余裕を持って、安全運転でお越しください。

### ※フィールドサイン

生き物が残した暮らしの痕跡、つまり足跡や食事をした  
跡やフンなどを“フィールドサイン”と呼びます。  
ふかふかの雪が積もると、そこかしこに動物たちの足跡。  
時にはキジやヤマドリが飛び立った時の翼の跡に出会う  
こともあります。

足の形や大きさからは何の動物が通ったのか、歩幅から  
は急いでいたのかゆっくり移動していたのか、どちらか  
ら来てどこへ向かって行ったのか…  
夏の間はよくわからなかった動物たちの行動がうかびあ  
がってきます。

## 活動記録（2010年11月1日～12月31日）

11月	7日	・モニタリング調査（水環境）
	26日	・霧ヶ峰自然環境保全協議会公園管理団体 WG 出席
	28日	・理事打ち合わせ会
	29日	・会報 2010年12・2011年1月号発行
12月	30日	・打ち合わせ会 ・事務所 大掃除

次号会報2011年4・5月号は2011年3月下旬ころ発行予定です。